【星野リゾート】香川県初進出となる新たなホテルの着工を決定、舞台は高松競輪場の余剰地

～自転車を中心としたまちづくりを進めるエリアで、地域とともに新たなにぎわいの拠点を目指します～

「旅を楽しくする」をテーマに「星のや」「界」「リゾナーレ」「OMO（おも）」「BEB（ベブ）」「LUCY（ルーシー）」の6つのブランドを中心に国内外に81施設を展開する星野リゾートは、2026年11月、香川県・高松市の中心部に「高松・新ホテル計画」を着工します。本事業は高松競輪場の再開発に伴う余剰地を活用するもので、星野リゾートとしては香川県初進出、四国では「OMO7高知 by 星野リゾート」に続く2軒目の運営施設となり、2028年秋の開業を予定しています。敷地内に別途整備される公園や温浴・飲食施設等と連携し、旅行者はもちろん地域住民にも日常的に親しまれるにぎわいの拠点を目指します。



高松競輪場再整備事業ホテル全景イメージ図

開発背景

高松市が推進する「高松競輪場再整備事業」は、老朽化した競輪場施設の更新とともに、敷地内の余剰地を活用し、地域に開かれた新たなにぎわい拠点を創出するプロジェクトです。本事業において、高松市より株式会社チャリ・ロト（＊）が委託を受け、高松競輪場の維持管理運営および余剰地整備を担い、「自転車を中心としたまちづくり」を進めています。星野リゾートは同社よりホテルの運営を受託し、香川県へ初進出します。

＊株式会社チャリ・ロト：2006年に設立し、競輪・オートレースのインターネット販売サイト「チャリロト」の運営をはじめ、競輪場の包括運営・施設整備やシステム開発を展開。「賭ける」から「語れる」へ。をビジョンに、地域活性化に取り組む。

特徴：旅人と地域の人々が交わるにぎわいの拠点へ

本計画では、余剰地エリア全体のコンセプトである「風と旅が輪（めぐ）る広場。」のもと、周囲に整備される公園や温浴・飲食施設等とともに、遠方からの旅人だけでなく地域住民にも日常的に親しまれる場所を目指します。ホテルでの滞在を通して瀬戸内の豊かな食や歴史文化をはじめとした高松の魅力を国内外へ発信し、高松市や地域と連携しながら多世代が交流できる空間づくりに貢献していきます。なお、展開するブランドや施設詳細につきましては、決定次第、改めて発表する予定です。

計画の概要

客室数　　：78室
階数　　：地上4階
建築設計・監理：梓・四電技術コンサルタント設計共同企業体
ホテルデザイン計画・内装設計・監理：佐々木達郎建築設計事務所
着工　　：2026年11月
竣工　　：2028年度上期（予定）
開業　　：2028年秋（予定）
所在地　　：香川県高松市福岡町一丁目453-4 他
付帯施設　　：カフェ、ショップ、パブリックスペース、屋外テラス

星野リゾートについて

星野リゾートは、「旅を楽しくする」をテーマに、旅の目的や過ごし方に合わせて「星のや」「界」「リゾナーレ」「OMO（おも）」「BEB（ベブ）」「LUCY（ルーシー）」の6つのブランドを中心に国内外に81（国内76、海外5）施設を運営しています。
URL：https://www.hoshinoresorts.com/

星野リゾートのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/33064

本リリースに関する報道関係からのお問合せ先

星野リゾート 広報　TEL 050-3537-2445／E-mail pr-info@hoshinoresorts.com

〔プレス関係者向け画像素材〕

プレスリリース掲載画像よりも高解像度の写真画像をお求めの場合、

以下ページにアップロードされているオフィシャル素材をダウンロードして掲載にご活用ください。

【本リリースPDF＆画像】

https://drive.google.com/file/d/1S7Lx42Q7Ebtaw2qXYxJGumTja5sl_OWI/view?usp=drive_link